

# 日本生活体験学習学会

## 第26回研究大会 大会要項

2024年度の日本生活体験学習学会第26回大会（福岡）は、北九州市立大学で開催いたします。対面集会となります。午前・自由研究、午後・総会と公開シンポジウム、終了後に情報交換会（茶話会）の1日プログラムとなります。（理事会や懇親会は前日予定）

日常活動が戻り、コロナ禍を経ての生活体験学習を問う必要があります。直接的で人間関係のなかで育まれる生活体験の重要性は高まりつつも、オンラインやICT教育の普及、DX推進、対話型AIなど生活や学習をめぐる利便性や効果によって、身近で基盤となっていた生活体験とその学習が、アナログ体験や直接体験と位置付けられるような、生活世界や教育・学習の様相が変化しつつあります。

コロナ禍によって、学習効果や成長への影響など実践の検証によって確認されつつ編成されていくべき時間がなく、一気に転換しはじめています。同時に、人口減少や消滅自治体など学習者や支援者・教育者そして地域の資源の変化も始まっています。また、子ども家庭庁の設置など「こどもまんなか社会」政策も展開してきます。

こうした時代変化のなかで、保育や教育における生活体験学習、地域づくりにおける生活体験学習など、生活体験学習の実践研究はもとより、子どもから大人にとっての生活体験（学習）の学際的研究、時代変化や社会変容のなかで生活体験学習にかかわる理論研究など、生活体験や体験学習、生活体験学習からの（への）アプローチや、それをキーワードとした研究が問われています。

会員さまの参加のもとで、会場での情報のシェアや論議ができればと思います。多くのご参加をお待ちしています。

第26回福岡大会実行委員長 恒吉 紀寿（北九州市立大学）

1. 期 日 2024年9月28日（土）

2. 会 場 北九州市立大学（北方キャンパス）  
〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方4丁目2番1号

3. 日 程

	受付	■開会 行事	■自由研 究発表	昼食・休憩	■総会	■公開 シンポジウム	閉会	■情報 交換会
9/28 (土)	9:00~	9:20~	9:30~ 11:40	11:40~ 12:40	12:40~ 13:50	14:00~16:30	16:30~	17:00~ 18:30

4. 参加費 <研究大会> 会員：1,500円 非会員：500円  
<情報交換会（ノンアルコールの茶話会）> 500円 ※学生の参加費は無料  
<懇親会> 6,000円（要事前申込） <昼食> 1,000円（要事前申込）

※前日9月27日(金)18:30より『魚楽処 佳颯（よしかぜ）』（北九州市小倉北区紺屋町4-24 TEL093-511-3220）にて懇親会を行います。参加を希望される方は、申し込みフォームからお申込みください。

## 5. 申し込み方法

参加を希望される方は、事前に参加申し込みが必要です。下記申し込みフォーム、またはQRコードより、**2024年9月10日(火)まで**にお申し込みください。またメールで申し込みを希望される方は、実行委員会担当者宛メール(h-miyajima@kwuc.ac.jp)に「氏名、所属、昼食、情報交換会、懇親会(前日)」の出欠をお知らせください。



<参加申し込みフォーム URL>

[https://docs.google.com/forms/d/1q\\_oQ0zhbr8HaQdNZg\\_zNRfTUlk\\_2uC1RIBXIB7Q9NOE/edit](https://docs.google.com/forms/d/1q_oQ0zhbr8HaQdNZg_zNRfTUlk_2uC1RIBXIB7Q9NOE/edit)

## 6. プログラム

■ 9:00~ ■■ 受付 : 1号館2階-202

---

■ 9:20~9:30 ■■ 開会行事 : 1号館2階-202

---

■ 9:30~11:40 ■■ 自由研究発表 : 1号館2階-202

---

個人発表 20分(15分発表 5分質疑) / 共同発表 30分(25分発表 5分質疑)

\* 共同研究の発表者には○を付しています。

司会: 山田 明(九州共立大学) 山田 俊之(九州大谷短期大学)

9:30~9:50 体験活動と生活衝動 - 「私はできる」の現象学  
石村 秀登(熊本県立大学)

9:50~10:20 カイコを教材とした保育実践および保育者養成の展開と課題  
○東内 瑠里子(日本福祉大学)  
○森川 美保(日本福祉大学・非常勤講師)  
○林 久美子(シルクライン)

10:20~10:50 飯塚市庄内生活体験学校の指定管理 10年  
~子どもの生活体験を拓く~  
○正平 辰男(飯塚市庄内生活体験学校)  
○原 和也(飯塚市庄内生活体験学校)

10:50~11:10 生活体験からの文学教育 - 『走れメロス』を題材として  
石村 華代(大分県立芸術文化短期大学)

11:10~11:40 総括討議

■ 12:40~13:50 ■■ 総会 : 1号館2階-202

---

## 「生活体験の再構築に向けて

### ー自然、地域、つながりをキーワードとしてー

これまで3年間にわたり「コロナ禍と生活体験」をキーワードに議論を進めてきました。その中で、コロナ禍により多くの体験活動が制限を迫られた現状を知ると同時に、体験の必要性に重点を置き、活動を続けてきた実践家の意見を集約することで、生活体験の変化を目の当たりにしてきました。そこでプロジェクト研究部会では、これらを踏まえて生活体験の在り方を再考する意味を込めて、「生活体験の再構築に向けて ー自然、地域、つながりをキーワードとしてー」といったテーマの下に議論していきます。

この議論を通して、次世代の子どもたち、それを取り巻く人々が生活体験の在り方をどのように意識しているのか確認し、果たして将来的に生活体験の枠組みが大きく変化し次のフェーズに移行していくのか、その必要はあるのかといった点について、一つの示唆が得られることが期待されます。

#### 【 登壇者 】

司会進行：川邊 浩史 氏（西九州大学短期大学部）

要旨説明（コーディネーター）：恒吉 紀寿 氏（北九州市立大学）

話題提供①：蒲原 聖 氏（特定非営利活動法人 森の育ち場）

オルタナティブスクールでの

子ども達の生活体験の様子や獲得されている力について

話題提供②：仙波 大海 氏（北九州市立大学 地域共生教育センター）

学生主体の地域活動団体(421Lab.)の再構築に向けて

話題提供③：矢ヶ井 那津 氏（北九州市立大学 地域創生学群）

生活体験活動を取り入れた初年次教育の実態とその効果

ー北九州市立大学 地域創生学群 猪倉実習を事例にー

指定討論（コメンテーター）：上野 景三 氏（西九州大学）

山本 一成 氏（滋賀大学）

## ■□■□■□■開催校からの連絡■□■□■□■

### (1) 研究大会当日の昼食について

当日は、お弁当（お茶付き）1,000 円の予約注文を受け付けます。ご希望の方は、参加申し込みフォーム内でお申し込みください。

### (2) 宿泊

宿泊先については、各自でご予約ください。小倉駅周辺が便利です。

### (3) 会場案内

■北九州市立大学北方キャンパス 〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

#### <JR&モノレール>

- ・JR「小倉駅」下車→北九州モノレール「小倉駅」から「競馬場前」下車（約 10 分）、徒歩約 3 分

#### <バス>

- ・福岡方面から：

「西鉄天神高速バスターミナル」から小倉行高速バス（なかたに号）で約 70 分

「競馬場前北九州市立大学前」下車、徒歩約 5 分

- ・小倉・田川方面から：

西鉄バスで「北方・北九州市立大学前」で下車、徒歩約 3 分

#### <車>

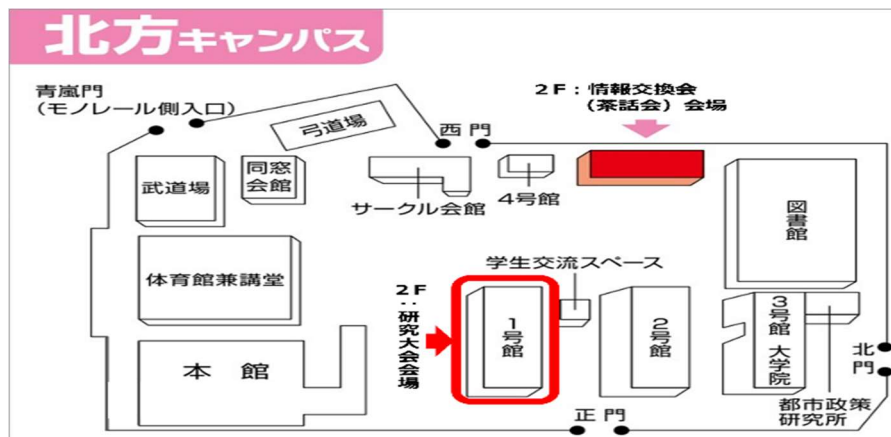
- ・九州自動車道小倉南 IC から国道 322 号線を経由、約 20 分  
（駐車に関しては、近隣のコインパーキングをご利用ください）

#### <北九州空港>

- ・航空機の到着に合わせて西鉄バスが運行しています。

九州自動車道・中谷三萩野（高速）経由砂津行きにご乗車ください。

「競馬場前（北九州市立大学前）」下車、約 35 分



※詳細は北九州市立大学 HP「アクセス」をご覧ください。

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/access/kitagata.html>

### 【第 26 回研究大会 福岡大会実行委員会】

第 26 回研究大会実行委員会事務局 山下 智也

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1 北九州市立大学

t e l : 093-964-4152 (研究室直通)

e-mail: tyamashita@kitakyu-u.ac.jp